

科目コード	N22319	科目名	成人看護学実習（慢性期）				
履修区分	必修	開講期	3年後期	実習期間	10日間	単位数	2単位
担当者	酒井知恵子 小泉千恵子 安部泰子 宋芳						
授業の概要	1)慢性期・回復期・終末期にある対象者の特徴とそれに対応した看護ケアの実際を学ぶ。慢性期・回復期にある対象者においては、慢性疾患や慢性的な健康問題を抱える対象者を受け持ち、内科的治療やリハビリテーションに伴う身体的変化や回復過程に応じた個別的な看護アプローチを学ぶ。また、終末期にある対象者においては、残された日々をより自分らしく生きるためのニーズの把握と心身の変化に応じた看護アプローチを学ぶ。2)Evidencelに基づいた看護ケアが提供できるよう、文献やガイドラインにアクセスし、実践する基本的能力を養う。						
DPとの関連	平和を希求する姿勢を身につける						
	豊かな教養を身につける						
	高い倫理観と責任感、他者との信頼関係を築き協働できる能力を身につける						
	看護専門職者としての役割を認識し、看護の実践に活用するための専門的知識を身につける						
	地域に生活している人々に対して深い関心と理解する姿勢を身につける						
	自らの学びを通じて人々や地域社会に積極的に関わり貢献しようとする意欲を身につける						
	多様な保健医療福祉の場での多職種との連携で、看護専門職として機能を発揮する能力を身につける						
	社会情勢や人々の健康に関する課題に沿った看護のニーズを意欲的に探究する姿勢を身につける						
到達目標	異なる文化や多様な考えを受け入れ、看護職者としての価値観を形成する能力を身につける						
	DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力 臨地実習要綱3年次 2025（令和7）年度 発達看護学実習 成人看護学実習（慢性期）-実習要項に準ずる。						
実習先行要件	<ul style="list-style-type: none"> ・1・2年次開講の看護基幹科目および看護展開科目の必修科目の単位修得 ・発達看護学（成人看護方法論：急性期）3年次前期の単位取得 ・看護学総合演習（看護実践基礎力の涵養）3年次前期の単位取得 						
履修上の注意事項	臨地実習要綱3年次 2025（令和7）年度 発達看護学実習 成人看護学実習（慢性期）-実習要項を熟読しておくこと。						
実習スケジュール	<p>全体の実習計画説明会において、領域別オリエンテーションを実施する。</p> <p>臨地実習要綱3年次 2025（令和7）年度 発達看護学実習 成人看護学実習（慢性期）を参照。</p>						
成績評価方法	<p>臨地実習要綱の評価表に基づき評価する。</p> <p>ただし、資格（出席日数）を満たしていない場合、記録物の未提出、実習オリエンテーションの無断欠席などは評価の対象としない。</p> <p>ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。</p>						
教員からのメッセージ	<p>短期間集中の実習であり、体調管理には十分留意すること。</p> <p>目的意識を持ち、これまでの講義・演習の学びを実習で統合させる。</p> <p>真摯な態度で臨むこと。</p>						
教員との連絡方法	オリエンテーション時に担当教員より説明をします。						
実務経験のある教員	全教員、看護職として臨床経験がありその経験を活かし指導を行う。						